

SOCIAL RESPONSIBILITY

日本化薬グループは積極的に地域社会の活動に参加し、次世代を担う子どもたちの教育支援やステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを活発に行い地域に根付いた会社を目指しています。

特に乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを啓発するピンクリボン活動は2004年度より医薬事業本部を中心に独自に開始しました。今ではグループ会社を含め全社で活動をしています。

また、創立80周年の記念事業の一環として「難病とたたかうお子さんと家族の手助けを」を合言葉に「あすなるの家」の活動を続けています。

「あすなるの家」の取り組み

「あすなるの家」は、小児がんをはじめとする難病の治療を受けるなど専門の医療機関に入院・通院しているお子さんと付き添われるご家族の方に安心して滞在いただけることを目指しています。

埼玉県立小児医療センターのさいたま新都心への移転に伴いさらに利用者が増え、1998年の開設以来、のべ3,000組を超えるご家族が利用されています。利用者のプライバシーを守



りつつご家族同士の交流を図ることができるような設備を備えています。

時代の変化とともに当施設に求められるニーズをいち早く感じ、利用される方がより安全・安心・快適にお過ごしいただけるよう「あすなるの家」も日々努力し、ご家族の精神的・経済的なご負担を軽減する手助けとなれるよう工夫しています。

お子さんが退院され、ご家族の方がお帰りになる時の「ありがとう」の一言が最高の勲章です。



ハウスマネージャー 山路智史

WEB コンテンツのご紹介



「リウマチら・ら・ら」
 リウマチの患者さまへの情報提供サイトとして公開しています。



あすなるの家
 難病とたたかう子どもとご家族のため介護者用滞在施設を運営しています。



地域との関わり
 工場祭などを通して地域の皆さまとのコミュニケーションに努めています。

● Kayaku Safety Systems Europe a.s. (KSE)^{※1} のピンクリボン活動

ピンクリボン活動の目的は、乳がんの知識や予防の大切さを伝えることです。KSEではONKO-DUHA Vsetin^{※2}と共同で地元の報道機関や市庁舎、図書館、病院のウェブサイトにてこのイベントを紹介し、2017年10月13日に「第3回ピンクリ



ボンデー^{※3}を開催しました。

イベントでは、キャンペーングッズと小冊子を製作し、地方自治体や企業、街頭で地域住民へ乳がんの理解を深め予防する方法をアドバイスしました。また、図書館で人形を利用して自己検査のポイントを紹介しました。



※1 チェコにある自動車安全部品の製造会社

※2 ONKO-DUHA Vsetin：SPCCH（チェコ共和国の乳がんの患者組織）のフセチン支部、KSEが2015年から財政的支援している団体

※3 ピンクリボンデー：世界的な胸の健康の日としてSPCCHが行っているキャンペーン

● 教育 CSR への取り組み

日本化薬グループは、未来を担う子どもたちに化学の面白さを伝え理科への興味・関心を高めてもらいたいという思いから創立100周年記念事業の一環としてイベント型の実験教室や出張授業を行いました。

イベント型実験教室では各事業場の工場祭や夏休み子ども化学実験ショー（夢・化学-21委員会主催）などにも参加しました。出張授業は小学校の指導要領に即した独自の教育プログラムを開発し、工場のある地域の小学校で実施しました。

出張授業：「体のふしぎ発見！～体のしくみとくすりのかわり～」

出張授業は、医薬事業に関わりのある理科単元「人の体のつくりと働き」を発展させた次の4点について実験を通じて学べるカリキュラムです。

- ①食べ物消化されどのように栄養が血液中に取り入れられるのか、全身をめぐるのが
- ②くすりの成分がどのように小腸から血液中に取り入れられ、全身をめぐるのが
- ③くすり効果が発揮することと体の仕組みには深く関わりがあること
- ④くすりを作る会社がさまざまな工夫や努力を行っていること

高崎工場



2017年6月22日に高崎市立岩鼻小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。

高崎工場の専門性の高い知識を持つ従業員が講師や補助スタッフとして参加しました。

多少緊張しながらも子どもたちに寄り添い、より理解を深められるようにアドバイスをしながら授業を進めました。今後子どもたちに化学の面白さや社会とのつながりを身近に感じてもらえる機会を提供できるよう継続して取り組みます。

東京事業区

2017年6月30日に東京都北区立なでしこ小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。

医薬研究所や機能化学品研究所の研究員が講師や補助スタッフとして参加しました。児童の皆さんは授業中に行われる実験に興味を持ち、真剣に聞き入っていました。先生方からも感謝の言葉をいただきました。このようなイベントを通し、化学について興味を持ってもらうとともに日本化薬についてもよりよく知っていただきました。

